

幅広い市民を対象とした普及について 提案

- ・親しみやすいキャラクターをつくる。公募でもいいかと思う。  
(以下の提案にキャラクターが、登場できると理想です。)
- ・今までにも話し合っていたが、わかりやすいパンフレット配布
- ・ポスターを各自治体に (キャッチフレーズを作る。)
- ・市民祭りでの PR (わたしたち市民の手で)・・・来年以降ですが
- ・新しくできる市民活動センターでの PR
- ・広報こしがやに、PR 普及スペースがあるといいと思う。(具体的で身近な自治基本条例をわかりやすく、肩を張らずにできるなど思えるように。たとえば、人権問題については、「人権それは愛」で物語形式のなにげない人権問題が載っています。)
- ・ホームページ。具体的なエッセンスを取り入れた解説や会話形式の物語だったり、4コマまんが風でじっくり読まなくても目にはいるかと思う。  
動画ができればもっと広がると思う。(アニメーションや実写や紙芝居風)

幅広い市民＝一般の市民は、先日の調査でもあまり知らないと結果がでましたが、実状です。興味がない、自分には関係がないと思っています。

しかし、自治は市民に関係あるし、自分の住んでいる街がどうなっているかを知っていきたいものです。

だから、幅広く市民に、自治基本条例は自分にも関係があって、具体的にどんな風に関わっているかが解ってもらえるよう、まず、見てもらえるよう、目につくよう、そして、内容が理解できるよう PR 普及が必要ではないかと思えます。

もし自分達が全く白紙の状態で何の知識がない状態だとして、この情報を見ようとするか、見るか、手に取るか、取り込もうとするか、そして理解し納得するか、もっと興味を持つかを、対象とする人の目線に想定してみることが、普及の方法のポイントかと思えます。